

守山の「観光」の魅力を探る

守山の「観光」取材でインタビューに答えてくれた職員さん

市文化財保護課
きたがわ ゆうすけ
北川 祐輔さん大庄屋諏訪家屋敷
おかもと ゆきこ
坂元 郁子さん

ジュニアリポーターが撮影した諏訪家屋敷



大庄屋諏訪家屋敷 茶室



モリヤマジュニアリポーターは守山の魅力について、テーマの検討から現地でのインタビュー、写真撮影、執筆まで行い、小学生リポーター独自の目線で紹介するコーナーです。

- ①茶室からの眺めを撮影する川那辺リポーター ②漁師さんの差し入れ料理に驚く田中リポーター ③取材を受けてくれた職員さんと名刺交換 ④主屋の土間を見学 ⑤すごろくを使って市内の観光地めぐり ⑥茶室で抹茶体験



⑤



⑥

大庄屋諏訪家屋敷は、近世(江戸時代後期)の和風建築と庭園を有する貴重な歴史遺産で、市文化財に指定されています。ご当主より寄付を受けて保存、整備した諏訪家屋敷は、市の新たな歴史遺産・観光スポットとして平成30年7月にオープンしました。柱や梁など古いものをできるだけ残して復元・整備された主屋、書院、茶室などの建造物と、趣きの異なる二つの庭園は、江戸時代の情緒と大庄屋諏訪家の隆盛を偲ぶことができます。

また、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」折りと暮らしの水遺産」の一つに認定されており、屋敷の池や水門は、琵琶湖につながっていて、かつての水運のにぎわいを想像させてくれます。当日は地元漁師さんも琵琶湖(赤野井湾)の湖魚料理を差し入れてくれました。守山の魅力を発信する観光拠点としても期待されている諏訪家屋敷を取材しながら、市内に点在する歴史遺産や観光スポットも学び、守山の魅力を探りました。

今回は、江戸時代の情緒を残し、新たな観光スポットとして平成30年7月にオープンした「大庄屋諏訪家屋敷」から、取材テーマ「守山の観光」をリポートします。

庭園の美しさが魅力
琵琶湖の形をした池も

大庄屋諏訪家屋敷の魅力は、静かで庭園がともきれいで、中央には、琵琶湖の形の池を巡る池泉回遊式庭園が広がりま

す。とても美しく見渡しもいいです。気持ちいい季節に、お座敷に座って、庭を見ながら楽しめる方もいます。

琵琶湖の形は、ちょっと分かりづらいですが、庭園はともきれいだし美しいので、皆さまにも見てもらいたいです。

私の言葉では分かりづらいですが実物を見るとともきれいです。



新しく古い文化財
火気使えず冬は大変

大庄屋屋敷で坂元 郁子さんと北川 祐輔さんにお話しをうかがいました。

冬は寒いし、夏は暑いので諏訪家屋敷を管理するのは大変なのだとなりました。

建物は、新しいけれど古いものをたくさん残しているらしいので、壊れていないかしっかりと見なくてはならないそうです。

後、火を使ってはならないので、冬は寒くて大変だとお聞きしました。

私は、諏訪家屋敷を守る大変さを改めて知り、もっと大事にしていきたいと思いました。



なごと
謎解きやスタンプラリー
などの楽しいイベントを

ぼくは取材で諏訪家屋敷に行つて、どうしたらもっとお客さんに来てもらえるかを考えました。

諏訪家屋敷にある主屋、茶室など大きささまざまな建物や広い庭園を使って謎解きやスタンプラリーをしたらおもしろいかな、もっとお客さんが来てくれると思います。何故なら謎解きもスタンプラリーも老若男女とも楽しめる考えたからです。

諏訪家屋敷では年に1回くらいお祭りをしてるそうですので、ぜひ行ってみたいですね。



守山にたくさんのお勧めの観光地
ぼくのお勧めは蜷江神社

ぼくは、諏訪家屋敷で「守山すくろく」の「コマ」の説明から、たくさんのお勧めの観光地を知りました。

その中で、ぼくのお勧めの観光名所は蜷江神社です。蜷江神社は神仏習合時代からの神と仏がいる珍しい神社です。そして、なんとタニシをまつています。なぜタニシをまつているのかというと、タニシが水害から人々を守っていたという言い伝えがあるからだそうです。

守山には、ぼくの知らない素晴らしい所がまだまだあるので、また調べて行ってみたいです。



守山って魅力がいっぱいだったんだね



令和2年1月14日、モリヤマジュニアリポーターは、一年間のミッションを修了して感謝状をもらいました

「モリヤマジュニアリポーター」は、新鮮な感性を持つ小学生の目線で守山の魅力を発信してもらうとともに、子どもたち自身にも守山をもっと好きになってもらうための企画です。また、企画、取材、執筆、編集までページ制作に参加する事で、普段できない体験や学びにつなげて欲しいと考えました。

モリヤマジュニアリポーターに応募してくれた児童2人は、10月15日号と今号、2回の紙面制作のために、取材本番のインタビュや体当たり体験だけでなく、取材の勉強や準備、執筆、編集など裏方の作業にも積極的に関わりました。

大庄屋諏訪家屋敷の原稿を書き上げ、感謝状を受け取った川那辺さんと田中さんは、満足そうな表情を浮かべていました。

1年間の活動

- 顔合わせ
アイデア出しゲーム
- 勉強会①
座学・模擬取材



模擬取材とカメラ撮影に初挑戦

- ビッグレイクを取材
記事執筆は宿題
- 編集会議
読み合わせ・校正・推敲
10月15日号に掲載



ビッグレイクを取材して記事を執筆

- 反省会・編集会議
アイデア出しゲーム
- 勉強会②
模擬取材・模擬テーマの執筆



「守山市の50周年」を模擬テーマに取材と執筆

- 大庄屋諏訪家屋敷を取材
記事執筆は宿題
- 読み合わせ・校正・推敲
(修了式)



諏訪家屋敷を取材して記事を執筆、原稿完成で1年のミッションを修了



2月15日号に記事掲載



広報担当者のつづやき

取材や執筆など、守山の魅力を伝えるために2人とも頑張ってくれました。特にインタビューのメモ量は大人顔負けですごかったです。



川那辺 結心さん

ジュニアリポーターでサッカー選手と会ったりきれいな庭園を見たりしました。取材は面白かったけれど、メモを取るのが追いつかなくて大変でした。作文もがんばったけれど、あまり好きにはならなかったです。

でも、守山には遊ぶ所や観る所があまりないと思っていただけで、もっと魅力ある場所があるかも知れないと興味が湧きました。またやりたいなと思いました。



田中 響流さん

カメラで撮影するのが楽しかったです。勉強会や取材は年上の人ばかりでちょっと緊張したけれど勉強した取材のポイント、ほかの人と話をする時など、ほかの時にも使えるなと思いました。

友だちや先生に「広報を見たよ」と言われると、嬉しいけれど少し恥ずかしい気もしました。茶室でお茶をしたり、選手とサッカーをしたりジュニアリポーターの一年は楽しい経験になりました。